

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	浅子 元、川村 美穂
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関する実務経験)							
保育者養成校にて20年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を12年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。本科目は、1年次に習得した基礎的なピアノの実力に基づき、実習で使用する「季節の歌」の習得、リズム遊び・リトミックの初步の段階の指導ができるように学ぶ。また、オペレッタの製作と発表までの取り組みを通じて、保育内容の充実や保育者の役割についても総合的に学ぶ。							
【到達目標】							
・保育現場の実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的な展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社							
回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い、前期で学習する内容と、年間到達目標を理解する。 【授業内容】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~4、2拍の拍子感。	9	【到達目標】 季節の歌「夏」「秋」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、夏、秋の歌の練習(ピアノ、うた)。弾きうたい。	11	【到達目標】 季節の歌「夏」「秋」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、夏、秋の歌の練習(ピアノ、うた)。弾きうたい、うただけ、伴奏だけ。	13	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)0歳児、1歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。
2	【到達目標】 ピアノの復習を行い春のうたのピアノ伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習…生活の歌6曲。歌唱…季節の歌「春」。	10	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)0歳児、1歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。	12	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。	14	【到達目標】 季節の歌「夏」「秋」から一曲ずつ弾き歌いが出来るようになる。 【授業内容】 季節の歌「夏」「秋」の習得。弾き歌いで演奏する。
3	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~4、2拍、3拍の拍子感の習得を図る。 【授業内容】 ダルクローズの基礎リズムの習得。2拍内で八分音符の音価でのリズムを習得する。	11	【到達目標】 季節の歌「夏」「秋」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、夏、秋の歌の練習(ピアノ、うた)。弾きうたい、うただけ、伴奏だけ。	13	【到達目標】 リトミック…(キーボード)即興演奏を経験する。 【授業内容】 キーボードを使用した自由な即興演奏を楽しむ。条件のある即興演奏(ハ長調、4分の4、8小節、両手)を一人ずつ行う。	15	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。
4	【到達目標】 季節の歌「春」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、春の歌の練習(ピアノ、うた)。	12	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。	14	【到達目標】 季節の歌「夏」「秋」から一曲ずつ弾き歌いが出来るようになる。 【授業内容】 季節の歌「夏」「秋」の習得。弾き歌いで演奏する。	15	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。
5	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム5~8、2拍、3拍、4拍の拍子感の習得を図る。(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 ダルクローズの基礎リズムの習得。2拍内で八分音符の音価でのリズムを習得する。リズムの聞き取りと記譜を学ぶ。	13	【到達目標】 リトミック…(キーボード)即興演奏を経験する。 【授業内容】 キーボードを使用した自由な即興演奏を楽しむ。条件のある即興演奏(ハ長調、4分の4、8小節、両手)を一人ずつ行う。	15	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。		【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
6	【到達目標】 季節の歌「春」「夏」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 コードネームを活かした伴奏が出来るようになる。	14	【到達目標】 季節の歌「夏」「秋」から一曲ずつ弾き歌いが出来るようになる。 【授業内容】 季節の歌「夏」「秋」の習得。弾き歌いで演奏する。	15	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。		【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
7	【到達目標】 リトミック…基礎リズムを発展させたリズム感の習得。 【授業内容】 口、手、足によるリズム表現を行う。リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)。中間試験の準備。	15	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップが出来る。 【授業内容】 リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)で1~8までを実演する。		【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)		【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
8	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップが出来る。 【授業内容】 リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)で1~8までを実演する。		【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップが出来る。 【授業内容】 リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)で1~8までを実演する。		【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)		【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
【特記事項】							

科目名 (英)	幼児体育指導法 Instruction skills for child sports	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	大澤 すみ子
		授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立学校教員として保健体育の指導に携わる							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
公立学校教員として長きにわたり保健体育の指導に携わり、初步的段階から発展した段階までの指導法を通して生涯にわたり、健康の重要性を指導してきた教員が幼児体育の指導者を目指すための幼児体育の目的と重要性と専門的な知識技術と技術の基礎を習得する授業を行う。							
自らの目指す専門職として身につけることは何かを考えながら受講してほしい。講義がメインとなる授業のため復習をしっかりと授業に臨んでほしい。							
【到達目標】							
・子どもの発達特性を理解しながら保育現場やスポーツ現場で、運動指導を行うための基本的な理論や実践方法を理解することができる。							
・身近な道具や歌・手遊びに合わせた演習や配慮を必要とする子どもへの運動指導法について指導計画を立てることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「元気な子どもを育てる幼児体育」(教科書)							
・「脳を育てる子ども体操」(参考書)							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 ・幼児体育の意義を理解し、常にそれを考えながら学ぶことができる 【授業内容】 授業ガイダンス／幼児体育の意義について	9	【到達目標】 ・主な外傷とその応急処置の仕方を理解する ・熱中症とその応急処置の仕方をしる 【授業内容】 応急処置				
2	【到達目標】 ・子どものからだの異常とその対策を理解する ・体温リズムとその対策を理解する 【授業内容】 近年のこどものかかる心身の問題とその対策	10	【到達目標】 ・幼児体育の必要性について理解する ・集団遊びの意義と必要性について理解する 【授業内容】 幼児体育の意義と役割				
3	【到達目標】 ・脳や自律神経を鍛える方法からみた運動特性を理解する ・幼児にとって運動の役割と効果を理解する 【授業内容】 幼児になぜ運動が大切なのか	11	【到達目標】 ・幼児体育のねらいについて理解する ・運動のつまずきとその対応について理解する 【授業内容】 幼児体育の指導法				
4	【到達目標】 ・運動・栄養・休養について理解する ・子どもの生活リズムについて理解する 【授業内容】 子どもの健康と生活習慣／油の情報	12	【到達目標】 ・体力・運動能力とは何か理解する ・基本スキルを運動時に育てる能力について理解する 【授業内容】 幼児の体力・運動能力・運動スキルの発育				
5	【到達目標】 ・子どもの心の発達について理解する ・運動の発想のメカニズムについて理解する 【授業内容】 子どもの心身の発達と運動	13	【到達目標】 ・障害のある子どもの理解と支援について知る ・障害のある子どもの運動について理解する 【授業内容】 障害のある子どもの健康と運動				
6	【到達目標】 ・遊びに関わる変化と昔あそびと伝統行事について理解する ・テレビ・ゲーム・携帯電話・インターネットが及ぼす子どもへの影響 【授業内容】 子どもの遊びの変化とメディアの普及	14	【到達目標】 ・幼児の運動時における体調観察について知る ・家庭保育所・幼稚園での安全管理について知る 【授業内容】 幼児の運動と安全性について				
7	【到達目標】 わからない問題の洗い出しをし、問題解決をする 【授業内容】 中間テスト・終了後の解答解説 テキスト完成発表会	15	【到達目標】 わからない問題の洗い出しをし、問題解決をする 【授業内容】 定期試験・終了後の解答解説				
8	【到達目標】 ・意欲を育てるということはどのようなことか理解する ・睡眠の重要性を知る 【授業内容】 脳を育てる土台づくり		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	社会的養護Ⅱ Institution Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	丑久保 行紀
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 児童養護施設の職員として10年の勤務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、社会的養護の基礎的な内容を理解し、その実際や支援の方法について学ぶ。また社会的養護に関する専門的知識・技術も身に着けてほしい。現場経験をもとに、福祉の実際をイメージして学びを深めていくよう授業を展開する。							
【到達目標】							
・子ども理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。施設養護及び家庭養護の実際にについて理解する。 ・社会的養護における計画、記録、自己評価について理解する。相談援助の方法、技術について理解する。 ・社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・新基本保育シリーズ⑩社会的養護Ⅱ」中央法規				【授業外における学習】 予め教科書を読んでおくことが望ましい。社会的養護に関する新聞やネット記事を読む。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 社会的養護における子どもの権利擁護の基本を理解する。施設における権利擁護の取組み・支援について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の機能・役割と課題、子どもの権利擁護	9	【到達目標】 アセスメントとは何かについて理解する。個別支援計画(自立支援計画)の内容について理解し、作成することができる。 【授業内容】 アセスメントと個別支援計画の作成				
2	【到達目標】 社会的養護のもとで生活する子どもの特徴、理解の仕方と背景を理解する。 社会的養護を必要とする子どもの家庭環境を理解する。 【授業内容】 社会的養護における子どもの理解	10	【到達目標】 社会的養護における記録の意義と役割、自己評価の意義・方法について理解できる。 【授業内容】 記録及び自己評価				
3	【到達目標】 社会的養護における日常生活支援の特徴について理解し、日常生活での支援のあり方について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の内容①日常生活支援	11	【到達目標】 社会的養護における保育の専門性・保育士実践を理解する。虐待を受けた子どもへの専門性を生かした対応を理解できる。 【授業内容】 社会的養護における保育の専門性にかかる知識・技術とその実践				
4	【到達目標】 社会的養護における心理的支援の目的と特徴、心理的支援を考える視点と実際、養育者支援について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の内容②心理的支援	12	【到達目標】 相談援助(ソーシャルワーク)の定義・体系について理解し、実践のプロセスについて理解できる。 【授業内容】 社会的養護にかかる相談援助の知識・技術とその実践				
5	【到達目標】 社会的養護の子どもの自立支援のあり方について理解する。支援困難な発達課題を持つ子どもへの自立支援を理解できる。 【授業内容】 社会的養護の内容③自立支援	13	【到達目標】 社会的養護実践におけるソーシャルワークを理解し、コミュニケーションスキル、ジェノグラムとエコマップの作成方法を理解できる。 【授業内容】 社会的養護におけるソーシャルワーク(知識・技術とその応用)				
6	【到達目標】 施設養護(乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設)の支援対象と生活特性について理解し、今後の課題について理解できる。 【授業内容】 施設養護の生活特性および実際①乳児院等	14	【到達目標】 家庭を支援することはどういうことか、支援チームを作る事の意義、総合的なアセスメントについて理解できる。 【授業内容】 社会的養護における家庭支援				
7	【到達目標】 施設養護(児童心理治療施設・児童自立支援施設・障害児施設)の支援対象と支援内容・機能について、理解できる。 【授業内容】 施設養護の生活特性および実際②障害児施設等	15	【到達目標】 「新しい社会的養護ビジョン」のを踏まえ、今後の社会的養護の課題と展望について、理解できる。期末試験に答えることができる。 【授業内容】 今後の社会的養護の課題と展望・期末試験				
8	【到達目標】 家庭養護(特にファミリーホーム・養子縁組)の制度と実際にについて、理解する。これまでの講義を振り返り、答えることができる。 【授業内容】 家庭養護の生活特性および実際②・中間試験	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)					
【特記事項】 講義資料は保存して復習用に活用してほしい。							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
幼稚園教諭として保育現場で担任教務、実習生指導の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】							
①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解く」学研							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 入園・進級当初の保育を理解し、保育計画をたてることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 初めましての会	8	【到達目標】 保護者懇談会を想定したプレゼンテーションの計画書を策定することができる。 【授業内容】 中間試験				
2	【到達目標】 入園・進級当初の保育を理解し、保育計画をたてることができる。 【授業内容】 新入園児と進級児の保育	10	【到達目標】 保育現場で特別な時間をデザインする楽しさと子どもへ与える影響について理解し、計画をたてることができる。 【授業内容】 演出のある保育活動を環境に取り入れる ねらいのある保育計画				
3	【到達目標】 春の遠足を計画し、保育者として必要な準備をすることができる。 【授業内容】 園外の保育	11	【到達目標】 保育現場で特別な時間をデザインする楽しさと子どもへ与える影響について理解し、計画をたてることができる。 【授業内容】 演出のある保育活動を環境に取り入れる ねらいのある保育計画				
4	【到達目標】 春の遠足を計画し、保育者として必要な準備をすることができる。 【授業内容】 園外の保育	12	【到達目標】 保育現場で特別な時間をデザインする楽しさと子どもへ与える影響について理解し、計画をたてることができる。 【授業内容】 演出のある保育活動を環境に取り入れる ねらいのある保育計画				
5	【到達目標】 進級後の保護者との連携方法について理解することができる。 保護者懇談会を計画し、保育士として必要な準備をすることができる。 【授業内容】 「新学期の様子を伝えよう」 (保護者懇談会の意図と工夫)	13	【到達目標】 保育現場で特別な時間をデザインする楽しさと子どもへ与える影響について理解し、計画をたてることができる。 【授業内容】 演出のある保育活動を環境に取り入れる ねらいのある保育計画				
6	【到達目標】 進級後の保護者との連携方法について理解することができる。 保護者懇談会を計画し、保育士として必要な準備をすることができる。 【授業内容】 「新学期の様子を伝えよう」 (保護者懇談会の意図と工夫)	14	【到達目標】 保育現場で特別な時間をデザインする楽しさと子どもへ与える影響について理解し、計画をたてることができる。 【授業内容】 定期試験(模擬保育)				
7	【到達目標】 進級後の保護者との連携方法について理解することができる。 保護者懇談会を計画し、保育士として必要な準備をすることができる。 【授業内容】 「新学期の様子を伝えよう」 (保護者懇談会の意図と工夫)	15	【到達目標】 保育現場で特別な時間をデザインする楽しさと子どもへ与える影響について理解し、計画をたて/vnd="ghost">				
8	【到達目標】 保護者懇談会を想定したプレゼンテーションの計画書を策定することができる。 【授業内容】 中間試験		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	選択ゼミ【障がい】 Seminar for professional training	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	古川みどり
		授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	後期 金曜1・2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士、児童発達支援管理者、施設長として、様々な子どもの保育・支援を経験及び児童発達支援センターの施設運営・支援に携わる経験をもつ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は選択制ゼミ形式のため、学生が主体的に学習し、現場で活ける学び、現場で役立つ学びを行う。子ども一人ひとりの個性・特性を理解し、子どもの興味関心から支援していく視点を養い、子どもをポジティブに捉える姿勢を学ぶ。ディスカッションを通じ、自分の意見を発信したり、相手の意見を聞くことで現場でのチームで行う支援や連携・協働に繋げる学びをしていく。現場職員の講義を交えながら、障がい児保育や支援の在り方について理解を深める。授業を通じ、自分の大切にしたい支援、関わり保育に出会い、学びを深めていってほしい。							
【到達目標】 ・障がい特性等を理解し、その援助や関わり方、配慮等について多様な意見、視点を交わしながら、自らの支援、保育をイメージし、つくる事ができる。 ・障がいある子どもが主体的に生活・遊びに参加し自ら体験経験をしながら、生活する力や学びにむかう力を育む環境構成を行う。 ・自らの理解を深めることから他者理解、子ども理解をする視点を養う。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・児童発達支援ガイドライン・保育所保育指針・適時配布				【授業外における学習】 施設見学			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 子どもの生活・遊びについて学び、それから得る効果について学ぶ。 児童発達支援においての理念方針を理解する。 【授業内容】 児童発達支援ガイドライン 放課後等デイサービスガイドライン 保育所保育指針	9	【到達目標】 地域にある障がいサポートについて調べ、グループごとにまとめる。 サポートマップの作成。① 【授業内容】 調べたことをまとめる～グループごと				
2	【到達目標】 障がいのある人、子どもの支援を受ける際の計画～個別支援計画等について学ぶ。その目的を理解する。 【授業内容】 個別支援計画・策定会議、計画をする際の手順について	10	【到達目標】 地域にある障がいサポートについて調べ、グループごとにまとめる。 サポートマップの作成。② サポートの提案ができる。 【授業内容】 グループごとにまとめた物を発表・共有する。				
3	【到達目標】 児童発達支援センターの特色・役割を理解する。 主体的活動における効果を感じる、学ぶ。 【授業内容】 施設見学 子ども発達支援センターワンダフルアーバン 施設職員講義	11	【到達目標】 保護者の障がい受容についてを知り、保護者支援・家庭支援の在り方、関わりを理解する。保育所等訪問支援について学ぶ。 【授業内容】 障がい受容について 保護者支援・家庭支援、相談支援について				
4	【到達目標】 施設見学を通して、施設においての子どもの発達や職員連携について理解する。自身の考えをまとめる。 【授業内容】 施設見学振り返り ワーク・発表	12	【到達目標】 障がいのある子、人の環境について① 障がいある人の健康と安全を保障する環境を知り、理解する。自らが生活していく力を育む環境構成について学ぶ。 【授業内容】 障がいある人・子の環境について 環境構成と関わり				
5	【到達目標】 実習開始に際しての施設に対しての理解を深める。職員連携を学ぶ。 【授業内容】 特別講師 保育園施設長 真島 質疑応答	13	【到達目標】 障がいのある子、人の環境について② 事例を通して、環境構成・関わりをグループごとにまとめる、共有する。 【授業内容】 グループディスカッション・発表・他の視点に触れる				
6	【到達目標】 実習後の施設の特色・特徴、課題点をまとめる。 園、施設での子どもの発達を子どもの様子から見出し、まとめる。 【授業内容】 実習後の振り返り・まとめ 共有	14	【到達目標】 施設見学2回目を通して、子どもの発達、成長や子ども同士の関わりを学ぶ。子どもと環境について理解し、学ぶ。 【授業内容】 施設見学 子ども発達支援センターワンダフルアーバン 施設職員講義				
7	【到達目標】 障がい保育・支援における連携・協働について学び、理解する。① 【授業内容】 連携～職員・保護者・地域・専門機関について 協働の意味、意図について	15	【到達目標】 施設見学振り返り 定期試験を通してこれまで学んだことを理解し、記述することができる。 【授業内容】 定期試験				
8	【到達目標】 障がい保育・支援における連携・協働について学び、理解する。② 【授業内容】 ケースをもとに連携について検討、まとめる。～各グループごと 中間試験		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価				
【特記事項】							

科目名 (英)	障害児保育 Disabled Children Instruction	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉 古川 みどり
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
幼稚園教諭として多様な子どもの園生活における指導計画を策定した経験・保育士として療育に携わった経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、障害児保育の基本理念や歴史的変遷について理解を深め、個々の特性を理解し、その保育の実際や援助、家庭や関係機関との連携について学ぶ。現職の施設職員の講義も交えながら、障害児保育の実態についての理解を深める。学生はこの授業を通して障害のある子どもの保育の方法を知り、包括的な支援方法を学んでほしい。							
【到達目標】							
・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。							
・障害児、特別な配慮をする子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。また家庭への支援や関係機関との連携を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「新基本保育シリーズ⑪障害児保育」中央法規 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解く」							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 障害者差別解消法を知り、目的を理解することができる。多様な子どもに関わる上で必要な事柄をまとめることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 障害者差別解消法・マイクロアグレッション	9	【到達目標】 地域に暮らす障害児者とその家族への支援について自身の考えをまとめることができる。 【授業内容】 動画視聴				
2	【到達目標】 視覚障害 その他の身体障害のある子どもの特性、支援の方法について理解し、まとめることができる。 【授業内容】 視覚障害 (外部特別講師による講義)	10	【到達目標】 障害のある子どもの健康や安全を守る視点・支援について理解しまとめることができる。 【授業内容】 障害児保育における子どもの健康と安全				
3	【到達目標】 脳性まひの子どもの特性・発症要因、関わり方について理解しまとめることができる。 【授業内容】 脳性麻痺の子どもの保育 (外部特別講師による講義)	11	【到達目標】 これまで学んだ基礎的な語句への理解を深め、説明することができる。保育現場での活用方法について記述することができる。 【授業内容】 中間試験				
4	【到達目標】 医療的ケア児・重症心身障害児の特性や過ごす環境について理解し、関わり方や支援について理解することができる。 【授業内容】 医療的ケア児・重症心身障害児の保育 (外部特別講師による講義)	12	【到達目標】 感覚統合の仕組みを生かした発達を促す工夫のある教材をデザインすることができる。個別の指導計画を策定することができる。 【授業内容】 発達を支援するということ				
5	【到達目標】 就学支援形態・保幼小の接続の上の支援の要点を理解することができる。 【授業内容】 小学校との接続 (外部特別講師による講義)	13	【到達目標】 感覚統合の仕組みを生かした発達を促す工夫のある教材をデザインすることができる。個別の指導計画を策定することができる。 【授業内容】 発達を支援するということ				
6	【到達目標】 個別の指導計画の策定方法と目的を理解しまとめができる。職員間の連携方法を理解する。 【授業内容】 個別の指導計画・個別の支援計画 アセスメントとカンファレンス	14	【到達目標】 感覚統合の仕組みを生かした発達を促す工夫のある教材をデザインすることができる。個別の指導計画を策定することができる。 【授業内容】 発達を支援するということ				
7	【到達目標】 障害の種別を理解することができる。 まつわる法令や国の支援体制について理解しまとめができる。 【授業内容】 3つの手帳・障害者の基本法令	15	【到達目標】 感覚統合の仕組みを生かした発達を促す工夫のある教材をデザインすることができる。個別の指導計画を策定することができる。 【授業内容】 定期試験				
8	【到達目標】 言語の障害の特性、関わり方について理解し、まとめができる。 【授業内容】 言語の障害(構音障害・吃音・減黙)		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	子育て支援 Learning for Child care support system	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
幼稚園教諭・保育士として勤め、保育現場における保護者への子育て支援の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目では、子育て支援についての理解を深め、具体的な事例をもとに支援の手立てを検討する。学生は本科目を履修し、子育て家庭の実践的な支援方法と理解の視点を学び、現場に活かせる知識と技術を習得してほしい。事例やグループワークを通して多様化する支援の必要性と保育士のニーズを知り、子育て家庭への理解を深めてほしい。							
【到達目標】							
①保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。							
②保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「子育て支援 15のストーリーで学ぶワークブック」萌文書林							
・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 子育て支援を学ぶ目的を理解することができる。 子育て支援の4つの制度基盤を説明することができる。 【授業内容】 オリエンテーション 子育て支援とは story1 夜型の生活リズムの家庭	9	【到達目標】 子育て支援の観点から、問題を発見することができる。 問題解決に向け、自身の考えを記述することができる。 【授業内容】 動画視聴 中間試験(記述)				
2	【到達目標】 子育て支援の意義について理解することができる。 【授業内容】 子育て支援に携わる意義 story2 おむつ外しに悩む保護者	10	【到達目標】 通所施設を利用する保護者の傾向や、支援方法を理解することができる。問題解決に向け、自身の考えを記述することができる。 【授業内容】 通所施設における子育て支援				
3	【到達目標】 子育て支援の基本的な価値と倫理について理解することができる。 【授業内容】 story3 気になる子どもと気にならない親	11	【到達目標】 さまざまな種類の文書があることを知り、書き方の違いがあることを理解する。保護者向けの文章を記述することができる。 【授業内容】 文書を活用した子育て支援				
4	【到達目標】 子育て支援に必要な基本姿勢を理解することができる。 【授業内容】 story4 貧困家庭への支援と理解 地域との連携	12	【到達目標】 子育て家庭が求める情報を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験ループリック評定 文書を活用した子育て支援				
5	【到達目標】 子育て支援に必要な基本的な技術を理解することができる。 【授業内容】 STORY5 ひとり親家庭への支援と理解 子育て支援のプロセス	13	【到達目標】 子育て家庭が求める情報を見つけコラムを作成することができる。 【授業内容】 コラムの作成				
6	【到達目標】 虐待傾向にある子どもとその家庭・保護者の状況を知る方法を理解することができる。 【授業内容】 story6 圏内・圏外との連携と社会資源 記録・評価・研修	14	【到達目標】 子育て家庭が求める情報を見つけコラムを作成することができる。 【授業内容】 コラムの作成				
7	【到達目標】 問題を早期発見・早期対応するためにの記録の取り方と活用方法を理解することができる。 【授業内容】 目黒区5歳児の虐待事件から学ぶ 記録・評価・研修	15	【到達目標】 子育て家庭が求める情報を見つけコラムを作成することができる。 【授業内容】 定期試験(課題提出)				
8	【到達目標】 地域子育て支援拠点の支援内容と方法を知りまとめることができる。保護者と関わる姿勢を理解する。 【授業内容】 地域子育て支援拠点における支援 広場デビューの専業主婦		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	こども体操教室 Child Cram School	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	大澤 すみ子
		授業形態	実技	総単位時間	60		後期 火曜 2・3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立学校教員として保健体育の指導に携わる							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
公立学校教員として長きにわたり保健体育の指導に携わり、初步的段階から発展した段階までの指導法を通して生涯にわたり、健康の重要性を指導してきた教員が幼児体育の指導者を目指すための幼児体育の目的と重要性と専門的な知識技術と技術の基礎を習得する授業を行う。自らの目指す専門職として身につけることは何かを考えながら受講してほしい。実技がメインとなる授業のため、健康に留意し積極的に体を動かし授業に臨んでほしい。							
【到達目標】							
・子どもの健康指導及び支援のできる保育者を目指し、その指導法を身につけることができる							
・実践的な保育活動の準備やプログラム立案を含め習得することができる							
・立案した運動指導計画を基に、子ども体操教室の実践・振りかえりを行うことができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「元気な子どもを育てる幼児体育」(教科書)							
・自作テキスト							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 ・授業のねらいと見通しをもつことができる ・テキスト作成をして、様々な運動種目を知ることができる 【授業内容】 ガイダンス	9	【到達目標】 ・コーナー遊び、組み合わせ遊び、障害遊び、サークル遊びの遊び方を理解する 【授業内容】 障害遊びとサークル遊び				
2	【到達目標】 ・運動能力を身につけて運動遊びをしめる ・異年齢の集団遊びを理解する 【授業内容】 体をつかった基本の運動と運動遊び①テキスト	10	【到達目標】 ・発想豊かな運動遊びを考えることができる 【授業内容】 地域交流について①				
3	【到達目標】 ・運動能力を身につけて運動遊びを知る ・異年齢の集団遊びを理解する 【授業内容】 体をつかった基本の運動と運動遊び②テキスト	11	【到達目標】 ・年齢に応じた運動遊びを計画し、その実践にあたることができる 【授業内容】 地域交流について②				
4	【到達目標】 ・ボール遊びとはどんなものか理解し、実践する ・フープ遊びとはどんなものか理解し、実践する 【授業内容】 用具を使った運動と運動遊び①	12	【到達目標】 ・四季の運動と体育行事を計画し、その実践にあたることができる。プレゼンテーションを行うことができる 【授業内容】 季節感のある運動として散歩や遠足・水遊びや水泳・山登り・雪遊び・運動会などを計画立案する。				
5	【到達目標】 ・縄の跳び方を実践することができる ・身近なものを使った運動を実践することができる 【授業内容】 用具を使った運動と運動遊び②	13	【到達目標】 ・シンメトリー・コントラストなどの舞踊技術を学ぶ ・グループごとに作品構成と選曲をする 【授業内容】 表現力を育てるリズム運動と創作 ①				
6	【到達目標】 ・マット運動の段階をおった指導法を身につけることができる ・跳び箱運動の段階のおった指導法を身につけることができる 【授業内容】 移動遊具を使った運動・運動遊び①	14	【到達目標】 ・作品の手直しをして、躍り込むことができる ・衣装を製作し完成させる 【授業内容】 表現力を育てるリズム運動と創作② 運動会用ダンス				
7	【到達目標】 ・マット運動の段階をおった指導法を身につけることができる ・跳び箱運動の段階のおった指導法を身につけることができる 【授業内容】 移動遊具を使った運動・運動遊び②	15	【到達目標】 ・作品発表を通して、目的・ねらい・理解度・達成度を確認する 【授業内容】 定期試験(作品発表と鑑賞)				
8	【到達目標】 ・運動遊具の安全管理と安全指導を身につける ・固定遊具の点検の仕方を身につける 【授業内容】 運動遊具の安全管理・安全指導テキスト／中間テスト		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	保育実践演習 Professional skill	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉		
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 2限		
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)									
幼稚園教諭として保育現場で担任教務の経験を持つ。									
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)									
本科目は、これまでの学びや保育実習での経験を振り返り、学生自らの課題を明らかにするとともに、保育士としての資質、能力の定着を養う。									
【到達目標】									
①保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。②保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を習得する。③自己の課題を明確化し、保育に必要な基礎的な資質、能力を定着させる。									
【使用教科書・教材・参考書】									
・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解く」学研									
回	授業概要		回	授業概要					
1	【到達目標】 こどもの生活に大きく影響する食育について保育士としての考察を深め、適切に取り扱うことができるようになる		9	【到達目標】 園行事をデザインし、必要な準備を含めた計画書を策定することができる。職員間の連携に必要な書類を策定することができる。		【授業内容】 行事の準備	【授業外における学習】 技術向上、獲得を目指し日々研鑽を積まれることを期待します。		
	【授業内容】 オリエンテーション 食と子ども 食べることは生きること			【到達目標】 园行事をデザインし、必要な準備を含めた計画書を策定することができる。職員間の連携に必要な書類を策定することができる。					
2	【到達目標】 こどもの生活に大きく影響する食育について保育士としての考察を深め、適切に取り扱うことができるようになる		10	【到達目標】 园行事をデザインし、必要な準備を含めた計画書を策定することができる。職員間の連携に必要な書類を策定することができる。		【授業内容】 行事の実践	【授業外における学習】 技術向上、獲得を目指し日々研鑽を積まれることを期待します。		
	【授業内容】 食と子ども 食べることは生きること			【到達目標】 実践を経て成功の過程を振り返ることができる。反省を踏まえ、次の課題を見つけることができる。					
3	【到達目標】 こどもの生活に大きく影響する食育について保育士としての考察を深め、適切に取り扱うことができるようになる		11	【到達目標】 実践を経て成功の過程を振り返ることができる。反省を踏まえ、次の課題を見つけることができる。		【授業内容】 行事の振り返り	【授業外における学習】 技術向上、獲得を目指し日々研鑽を積まれることを期待します。		
	【授業内容】 食と子ども 食べることは生きること			【到達目標】 2年間の学びを踏まえ、より考察を深め、学びを広げたい事柄に焦点を当てることができる。調べ学習の計画を立てることができ					
4	【到達目標】 こどもの生活に大きく影響する食育について保育士としての考察を深め、適切に取り扱うことができるようになる		12	【到達目標】 2年間の学びを踏まえ、より考察を深め、学びを広げたい事柄に焦点を当てることができる。調べ学習の計画を立てることができ		【授業内容】 調べ学習レポート作成	【授業外における学習】 技術向上、獲得を目指し日々研鑽を積まれることを期待します。		
	【授業内容】 食と子ども 食べることは生きること			【到達目標】 2年間の学びを踏まえ、より考察を深め、学びを広げたい事柄に焦点を当てることができる。調べ学習の計画を立てことができ					
5	【到達目標】 保育現場で食について伝える模擬保育を実践することができる。子どもが受け取りやすい工夫をすることができる。		13	【到達目標】 2年間の学びを踏まえ、より考察を深め、学びを広げたい事柄に焦点を当てることができる。調べ学習の計画を立てことができ		【授業内容】 調べ学習レポート作成	【授業外における学習】 技術向上、獲得を目指し日々研鑽を積まれることを期待します。		
	【授業内容】 食と子ども 食べることは生きること			【到達目標】 2年間の学びを踏まえ、より考察を深め、学びを広げたい事柄に焦点を当てることができる。調べ学習の計画を立てことができ					
6	【到達目標】 園行事をデザインし、必要な準備を含めた計画書を策定することができる。職員間の連携に必要な書類を策定することができる。		14	【到達目標】 2年間の学びを踏まえ、より考察を深め、学びを広げたい事柄に焦点を当てることができる。調べ学習の計画を立てことができ		【授業内容】 調べ学習レポート作成	【授業外における学習】 技術向上、獲得を目指し日々研鑽を積まれることを期待します。		
	【授業内容】 行事の準備			【到達目標】 2年間の学びを踏まえ、より考察を深め、学びを広げたい事柄に焦点を当てることができる。調べ学習の計画を立てことができ					
7	【到達目標】 園行事をデザインし、必要な準備を含めた計画書を策定することができる。職員間の連携に必要な書類を策定することができる。		15	【到達目標】 学びを自身の言葉で発信することができる。仲間の発表から学びを得ることができます。		【授業内容】 調べ学習レポート発表会(定期試験)	【授業外における学習】 技術向上、獲得を目指し日々研鑽を積まれることを期待します。		
	【授業内容】 行事の準備			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)					
【特記事項】									

科目名 (英)	選択ゼミ【子育て】 Seminar for professional training	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	沼澤 佳樹江
		授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 1・2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
幼稚園、子育て支援センターで幼稚園教諭・保育士として勤務し、保育業務、実習生指導や子育て支援を行いながら専門学校講師を務める。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、施設種別・職種領域による選択制ゼミ形式教育により、現場で役立つ特技的な科目的履修により、学生が主体的に現場力を養う。教員の現場経験を活かし、学生とともに子育て支援ひろばの運営を通じて、様々な子ども達や保護者と関わる方法や、専門技術・対人援助力を養う。							
【到達目標】							
・施設種別、職種領域についての基礎的な理解を深め、学生自らが課題をもち主体的に学ぶことができる。							
・これまで学んだ理論や知識を生かし、現場力を養う。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
必要な資料はその都度教員が配付する							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)	9	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)				
2	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)	10	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)				
3	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)	11	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)				
4	【到達目標】 エンゼルキッズの運営について振り返り、課題、成功事例、今後の改善点などを共有し保育の内容について議論することができる。 【授業内容】 エンゼルキッズの運営について振り返り 環境整備	12	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)				
5	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)	13	【到達目標】 エンゼルキッズの運営について振り返り、課題、成功事例、今後の改善点などを共有し保育の内容について議論することができる。 【授業内容】 エンゼルキッズの運営について振り返り 環境整備				
6	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)	14	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)				
7	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)	15	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)				
8	【到達目標】 エンゼルキッズ運営を通じて保育の計画と実施、保育の考察、保護者対応などの保育の実践力を高める。 【授業内容】 エンゼルキッズ運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)		【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

